

山口県立大学と共にスタディーツアープログラム実施

地域商圈活性化を目指した「3E 小道旅行」体験

我が校は19日(金)から8泊9日間、姉妹校である山口県立大学の教職員及び学生を受け入れ、「スタディーツアー」プログラムを実施している。

今回のプログラムは「幸せな地域作り」という主題で、我が校が3年間実施してきた地域商圈活性化を成功させるための「3E 小道旅行」の意味と成果を、山口県立大学の学生と共に直接経験し学ぶためのものである。

この度、訪問に至った経緯としては、山口県立大学の学生が都市空洞化現状が起こっている山口県の都市再生と復興のため何かできないか探っていること、姉妹都市である慶南大学と持続的な交流があり、慶南大学が馬山地域の都市再生活動に模範を見せていること、である。

スタディーツアープログラムは20日(土)チャンドンで実施されたフリーマーケットから始まり、22日(月)午前には「日韓の大学生グローバル共同セミナー」を開催し「幸せな地域社会作り」に対し、慶南大学生と山口県立大学生、相互のアイデアを共有した。

続いて、午後にはオドンドンとチャンドン、プリム市場を回り、直接「3E 小道旅行」を体験する時間を持った。

※「3E 小道旅行」とは、「Economic, Experience, Education」の3つのEをコンセプトにしている。商店街には芸術作品が装飾してあったり、商店街を訪れた学生や大人たちが様々な伝統的体験・芸術体験をすることができるようになっている。体験の例としては、地元ボランティアによる商店街案内、商店街全体にある芸術作品を探したり、その特徴にまつわるクイズに答えるようなオリエンテーリング、七宝焼きペンダントのような伝統工芸品のワークショップなどである。

また、23日(火)午前には昌原市オドンドン・チャンドン・魚市場商圈活性化財団を直接訪問した。財団の方から地域再生に関連した多様な事業の紹介があり、質疑応答の時間もあった。

23日(火)から25日(木)までは「3E 小道旅行」プログラムを実際に運営する。「日本広報館」と題し、6種類以上の日本の伝統体験コーナーが設けられる。

今回のスタディーツアーの総括企画を担当している我が校の鄭恩姫教授と山口県立大学の林炫情教授は「今回のプログラムを通して、日韓の大学生たちには地域社会に対する愛と関心を高める機会となった。地域社会の再生と成長を夢見る二つの都市には新たな学びと挑

戦の時間になることを願う」とコメントしていた。

今回のスタディーツアープログラムは慶南大学の生涯学習研究センターが主管となり、我が校と昌原市のオドンドン・チャンドン・魚市場商圈活性化財団で積極的にサポートを行っている。

我が校は、3年前からこれまで、馬山の伝統市場活性化及び地域再生の一環でオドンドン・チャンドン・魚市場商圈活性化財団と共に、地域内の学生と地域住民 8000 名余りを対象に「3E 小道旅行」を実施してきた。「3E 小道旅行」を通して、地域住民たちの商圈活性化地域に対する関心を呼び起こし、商店街へ再び足を運んでもらえるよう、日々工夫をこらしている。商店街が昔の活気を取り戻す日は近いかもしれない。